庄内地区福祉活動計画

大好きな街にするために

元気がいっぱい　笑顔がいっぱい　優しさいっぱい

ほのぼの庄愛会

平成15年5月
都　城　市

はじめに

少子高齢社会の到来や核家族化などを背景として、世帯構成や家族の機能が大きく変化していくなか、高齢者や障害者など、生活上の支援を要する人は一層厳しい状況におかれています。また、生活上の不安やストレスが増大し、自殺、家庭内暴力、虐待、引きこもりなどが新たな社会問題となっています。

今こそ、市民一人ひとりが手を携えて、身近な地域において助け合い、支え合いながら誰もが安心して暮らせる地域社会を築くための地域福祉の推進に努める必要があります。

今までは「誰々のために」ということでしたが、「みんなで一緒に」という時代になりました。「みんなの幸せ」のために何ができるのか、そのことに具体的に取り組んでいく時期を迎えております。人間、一生のなかで「ここに住んで良かった」と思えるところに住めることほど大きな幸せはありません。

そこで、誰もが尊重され、安心して暮らせるまちをみんなで一緒に作っていく社会の構築が切に望まれます。何にもなかった昔は、今ではうらやましいくらい人と人との心の支え合う社会がありました。しかし、物質的に豊かになった現在、逆にそういう点が寂しくなったと言われています。豊かになった時代にふさわしい豊かな心をお互いが持てたら、都城は必ずその名に恥じない良い町になると思います。

こうした思いから地域住民と一体となって推進するために「都城市地域福祉計画」及び11地区ごとに「地域福祉活動計画」を策定しました。

なかでも地区計画の策定にあたりましては、地域住民の主体的な参画を念頭に地域の特性や地域資源に配慮し、地域住民の身近な生活課題を踏まえた計画づくりを推進するために、都城市社会福祉協議会と協働し、11地区ごとの地区策定委員会を設置し、子どもから大人まで約250名の方々が原案策定に主体的に関わっていただきました。まさに、住民一人ひとりの責任において、地域福祉を進めていく姿勢を強く感じる計画となっています。

今後、本計画の実現に向けて、住民参画のもと地域福祉を推進して参りますので、住民の皆様のますますのご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、この計画策定にあたり、御協力いただきました11地区の地区策定委員会の皆様、そしてさまざまな御提言をいただきました住民の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成15年5月

都城市長　岩橋 辰也

地域の地域による地域のための計画

恵まれた自然や人の環境下にあっても福祉課題がたくさんあります。

その福祉課題を、地域住民とともに、行政も社協も手を取り合って解決していこうというのが、この地域福祉計画でしょう。

近年、地域福祉と言いながらも、誰からも看取られない孤独死等の事象は未だに地域で起こっています。地域の細かなネットワークがこれからますます必要とされることは言うまでもありません。

今回の作業には職員を大挙地域に送り出し、地域住民とともに福祉課題を語り合ってきました。社協として全精力を傾けて望んだものです。結果、これまでこつこつと積み重ねてきた地域福祉の実践を継承しつつ、「はずみをつける」そして「新しい風を求めて」みんなが思い描く地域像ができあがりました。まさに地域の地域による地域のための語り合いが、計画という形に結実しました。

この計画は、真に地域の福祉力が問われる内容となっています。これからが、住民にとっても社協にとっても本番です。

社協は、戦後の混乱期から民間団体として活動してきた歴史があります。我々はその歴史を踏まえ、住民に寄り添い、さらに日本一の社協を目指しています。その歩みは牛歩のごとく、一歩一歩前のみを見つめて進んでいます。

都城市民として、地域でともに仲良く暮らしていくために、一緒に歩いていきましょう。私たちは地域住民の応援団として計画を手に、求められる社協像を見失わず、元気（ウエルネス）を出して歩いていきたいと思います。地域関係者をパートナーとして。

社会福祉法人都城市社会福祉協議会

会長　佐々木 文雄

みんなで
みんなの地域のために
考えた「計画」です。

ぜひ読んでください！ そして参加してください！

庄内地区地域福祉計画策定委員会
ほのぼの庄愛会　委員長　津曲弘美

庄内地区地域福祉計画に参加し、積極的に取り組んでいただいた委員の方々のご協力に感謝し、厚くお礼申し上げます。

都城市地域福祉計画　庄内地区策定委員会の委員として22名の方々が都城市長より委嘱を受け、会名称「ほのぼの庄愛会」を決めることから始め、庄内地区の実情にあった地域福祉の取り組みを協議してきました。

高齢者も、障害者も、子どもも、地区のみんなが笑顔あふれるまち庄内にするため、この「庄内地区地域福祉計画」をもとに、みんなが参加し協力できる福祉活動をすすめていきたいものです。

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けて、まずはこの計画書をご覧いただき、身近な福祉活動にはぜひ参加ください。

【庄内地区策定委員会「ほのぼの庄愛会」委員　（委嘱期間　平成14年8月1日～平成15年3月31日）】

No.	備　考	氏　名	所　属・役　職
1	策定委員長	津曲　弘美	庄内地区福祉推進委員会　会長
2	策定副委員長	益田　義美	庄内地区自治公民館連絡協議会　副連協長
3	委　員	川崎　三郎	庄内地区民生委員児童委員協議会　会長
4	委　員	萩原　忠子	庄内地区民生委員児童委員協議会　副会長
5	委　員	益留　道雄	庄内地区地域ボランティア連絡協議会　会長
6	委　員	重久　正子	庄内地区福祉推進委員会　会計
7	委　員	徳永　至	庄内地区高齢者クラブ連絡協議会　会長
8	委　員	宮下　桂子	庄内地区元気づくり委員会　会計
9	委　員	宮島百合子	庄内地区婦人連絡協議会　会長
10	委　員	七牟禮淳二	庄内地区PTA連絡協議会　会長
11	委　員	鮫島　亨	町区壮年会　社教連会計
12	委　員	肥後　一臣	乙房小学校　学校長
13	委　員	福留　稔	庄内小学校　学校長
14	委　員	種子田克秀	菓子野小学校　学校長
15	委　員	黒木　敏行	庄内中学校　学校長
16	委　員	鵜島　由衣	庄内中学校　生徒
17	委　員	吉永　淑子	ルンビニ保育園　主任保育士
18	委　員	船木　和子	菓子野保育園　施設長
19	委　員	刀坂　純子	乙房保育園　主任保育士
20	委　員	田畑　剛	乙房苑　地域福祉課長
21	委　員	加治木正治	白寿園　介護支援専門員
22	委　員	奥田　正幸	都城市学校教育課　係長

策定委員会の様子

第1回

地域福祉計画の共通理解をはかり、グループ協議の方法で、この委員会の名称「ほのぼの庄愛会」を決めました。

第2回

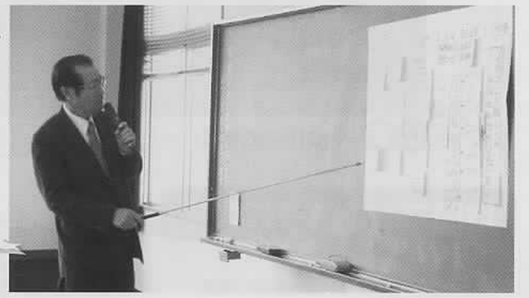
「まっさきに取り組むこと」をテーマに、これからの福祉活動の設計図となる模造紙をグループ協議でつくりました。

第3回

3回目のテーマは「地域でできる福祉活動」。地域の住民や学校、福祉施設が協力しあってできることを協議しました。

第4回

4回目は、「すぐに取り組める福祉活動」から「将来の夢」まで、段階を追って、すすめられる福祉活動をグループ協議しました。



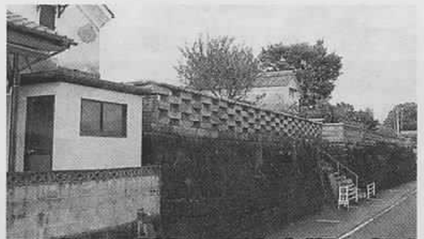
第5回

最後となった5回目では、協議してきた地域福祉計画と活動を確認しました。実践に向けて頑張ろう!

庄内地区ってどんなところ

こんなところ（地勢と歴史）

都城市の北西部、秀麗な高千穂峰を背景に、庄内川両岸の平野部に発展した農畜産業を中心にした地域で、霧島山系東側シラス台地の標高159メートルに位置しています。庄内町（東区・西区・町区）、菓子野町（今屋区・千草区・宮島区）、乙房町（乙房区・平田区）、関之尾町（川崎区・関之尾区）の４町、10の自治公民館からなっています。


100年ほど前の明治中期の趣を残す石垣造りの庄内の町並み

地区の中央を西から東へ貫流する庄内川は源流を霧島山系とし、関之尾から乙房の大淀川合流点まで約８キロ。名勝関之尾の滝（1990年、日本の滝百選第３位）、奇岩甌穴群（1928年国の天然記念物指定）を造り、蛇行する川の両面に肥沃な水田が広がっています。豊富な水量は先人の英知と苦難の努力によります。北前、南前、前田用水路を開削し、庄内川の恩恵は遠く谷頭原から志和池まで及んでいます。

庄内には多くの史跡が存在し、大切に保存されています。古墳、都城島津家発祥ゆかりの墓所の数々、庄内の乱の戦跡、かくれ念仏洞、由緒ある寺社などがあり、また熊襲踊りをはじめ、各地区に伝承の郷土芸能も多数あります。

一方、幹線道路を一歩はいると昔ながらの石垣作りの壁や建物が続き、独特の雰囲気の漂う町並みが今でも残っていて、まだまだ人情味豊かな土地柄です。

いま（平成15年の写真）

（昭和35年頃の写真）むかし

現在の十字路信号より西側方向の町並み

地図マップ（史跡など）

地域の課題と生活環境

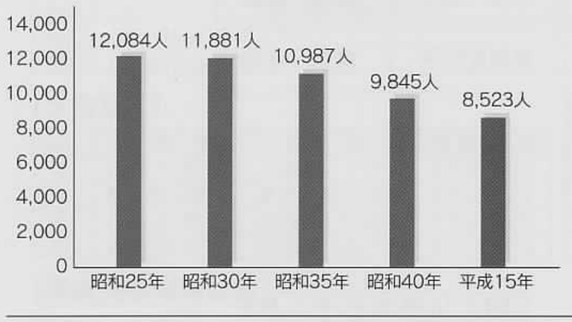
この地区は明治以降昭和40年の都城市との合併まで独立した行政区としての歴史が長かったせいか、地区としてのまとまりがあります。とはいえ、少子高齢時代のあおりを受け、自主活動はやや沈滞気味です。

しかし、昭和62年の「庄内の昔を語る会」の設立、続く平成２年度に設立された「元気づくり委員会」を先頭に、新しい活力ある郷土作りの気運は徐々に「ふるさと祭り」をはじめとする地域の行事に結びついています。

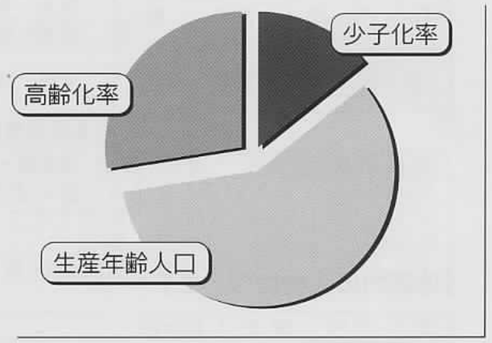
（平成15年4月1日現在：住民基本台帳人口）

人　口	人口総数	**8,523**人
	①男女比	47.4%（男性）　52.6%（女性）
	②年齢別比（グラフ参照）	0～14歳：14.4%（少子化率） 15～64歳：57.6% 65歳以上：28.0%（高齢化率）
世　帯	世帯数	**3,270**世帯
	①1世帯あたりの人数	2.6人
	②一人暮らし高齢者世帯	269名（地区総人口の3.2%）

庄内地区人口の推移



庄内地区人口３区分



今一度、地区を上げて豊かな自然の恵みに感謝し、祖先が築き上げた尊い遺産に誇りを持ち、活力ある郷土作りが急がれています。みんなが安心して住める町を目指して、みなさん一人ひとりの活動が求められています。

平成14年度都城市ふれあいアンケート（市民意識調査）抜粋資料

市政への要望

あなたが特に力を入れてほしい施策を５つ選んでください。

順位	要望事項		順位	要望事項	
1	商店街の活性化	（37.3%）	6	農畜産業の振興	（19.4%）
2	企業誘致	（28.4%）	7	福祉対策	（17.9%）
3	生活道路や側溝の整備	（26.9%）	8	病気予防と健康増進	（17.9%）
4	河川浄化や環境整備	（23.9%）	9	ごみ、し尿処理	（17.9%）
5	交通安全対策	（22.4%）	10	下水道の整備	（17.9%）

庄内地区の社会資源

【人的資源について】

（平成15年4月現在）

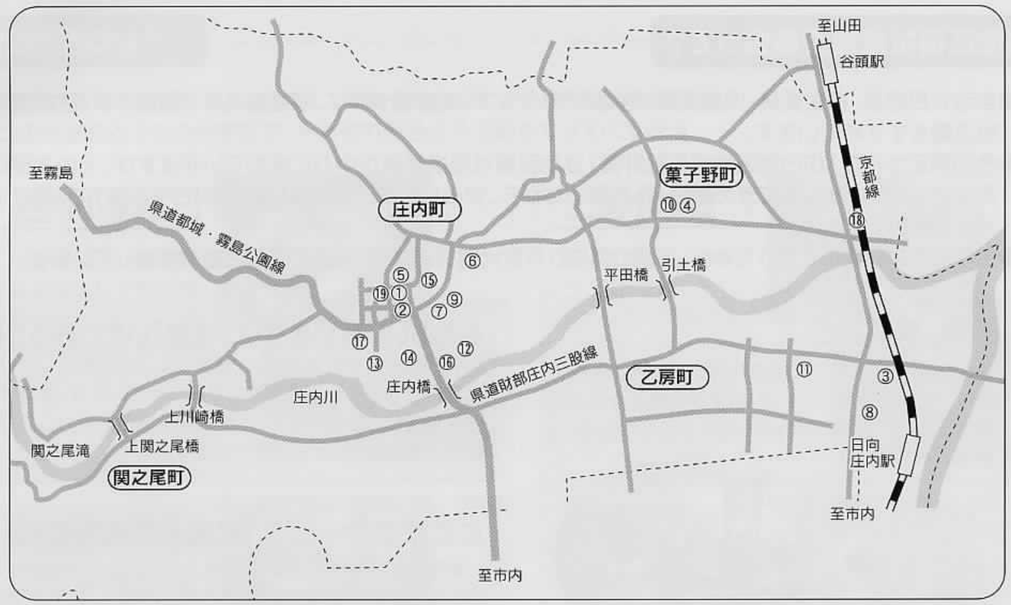
No.	自治公民館	自治公民館長	民生委員 児童委員	地域ボランティア会長	高齢者クラブ会長	福祉協力員
1	乙房	馬籠　英男	馬籠　好子 小久保鈴子	益留　道雄	平本正之助	蒲生　茂
2	平田	徳丸　末義	吉村　昭男 福森　静香	花吉みどり	柳田　実義 瀬戸山　親	森山タツ子
3	川崎	福村　修	川崎　良光	浜崎セツ子	―――	田中　義輝
4	関之尾	迫田　邦久	萩原　六雄	田川　礼子	―――	坂元　洋子
5	西区	池田平八郎	小林美恵子 釘村美千也	塚野　米	掘　清秋	津曲　弘美
6	町区	宇野　行則	中村　邦子 川崎　三郎	西山　経盛	徳永　至彦	重久　正子
7	東区	新田　幸夫	萩原　忠子 赤池　利昭	川越　タミ	竹之下正光 黒島　昭典	梶原　文雄
8	今屋	菓子野清弘	新地　町子	続山　安子	小松　正義	
9	千草	鎌田　巖	長友　義行 冨満　敏子	竹田　依子	坂元　実雄	
10	宮島	宮島　義光	宮島　成子	前原佐江子	宮島　重利	

主任児童委員
永倉喜一郎 志々目京子

【地区内の人材について】

1	今村　隆志	和太鼓
2	大田　重信	川魚ウキ釣り
3	大峯　陽子	ヨガ
4	菓子野美和子	大正琴(琴城流)
5	川崎　典子	民謡・新舞踊(梅元流)
6	瀬戸山　親	縄細工
7	永野　満哉	銅板レリーフ
8	西俣　里子	エアロビクス
9	西俣　保美	安全吹矢
10	花房美智子	カラオケ
11	赤池　實年	卓球・書道
12	有馬　一治	イラスト(漫画)
13	池田　忍	山歩き・山菜採取・識別
14	臼杵　澄子	舞踊
15	臼杵　通夫	音楽・子供遊び
16	蒲生　宏孝	自然食研究家
17	蒲生　芳子	自然食研究家
18	川越　タミ	健康づくり
19	川畑まり子	校正
20	坂元　徳郎	詩吟
21	重久　政雄	彫刻
22	城村　マツエ	三味線
23	末原　瑠璃子	民謡
24	長田　サチ子	三味線
25	長友　久二	松の木の剪定・盆栽
26	濱崎　孝浩	エアロビクス、ジャズダンス、タップダンス
27	原田　時美	カラオケ
28	肥後　泉	油絵
29	前畑アキミ	大正琴
30	山下　紘一	野球
31	和田　エミ	漬物
32	中村　邦子	カラオケ
33	今村　勇	竹わら細工、しめ縄
34	宮島　貞治	わら細工

【福祉資源マップ】



【公共施設など】

No.	施設名	住所	電話番号
①	庄内地区市民センター	庄内町12692	37-0520
②	庄内地区公民館		37-0888

【学校など】

No.	学校名	住所	電話番号
③	乙房小学校	乙房町1707	37-0706
④	菓子野小学校	菓子野町9555	37-0527
⑤	庄内小学校	庄内町12680	37-0525
⑥	庄内中学校	庄内町8976	37-0526

No.	学校名	住所	電話番号
⑦	清涼幼稚園	庄内町12396	37-0568
⑧	乙房保育園	乙房町323	37-1212
⑨	ルンビニ保育園	庄内町12468	37-0569
⑩	菓子野保育園	菓子野町9523-1	37-1766

【障害児者関係施設】

No.	施設名	住所	電話番号
⑪	身体障害者療護施設　乙房苑 乙房苑デイサービスセンター 知的障害者更正施設　ハッピーヒル 地域交流センター	乙房町2191-3 乙房町2194-1	37-3900 37-3910

【高齢者関係施設】

⑫	特別養護老人ホーム　白寿園 庄内デイサービスセンター 都城市西部在宅介護支援センター	庄内町8673	37-0887 37-0894 37-2314
⑬	訪問看護ステーション　ことぶき　庄内支所	関之尾町7634-5	37-3738
⑭	グループホーム　グループ庄内ひかり	庄内町8122-1	37-3777

【医院】

⑮	庄内田中医院(内科・小児科)	庄内町12531	37-0507
⑯	庄内医院(外科・内科・整形外科) 通所リハビリテーション施設併設	庄内町8610	37-0522
⑰	宮下クリニック(内科・皮膚科・リハビリテーション科) 通所リハビリテーション施設併設	庄内町7981-5	37-0539
⑱	ありしま歯科医院(歯科)	菓子野町10272-1	37-3023
⑲	末原歯科医院(歯科)	庄内町12690-3	37-0047

庄内地区ではこんな 活動をしています！

庄内地区福祉推進委員会って？

●自治公民館長、民生委員・児童委員、地域ボランティア、高齢者クラブ、福祉協力員で組織され、住民主体の福祉活動をすすめています。
●今回策定された「庄内地区地域福祉計画」は地区福祉推進委員が中心に進めていきますが、その主役は住民みなさんです。みんなで支えあい、ふれあいながら、安心して暮らせる福祉のまち庄内に向けて、福祉活動にぜひご参加ください。
●主な活動は以下のとおりですが、日頃の見守りや世代間交流など、幅広く福祉活動を推進しています。

会議・研修など

福祉やボランティア、地域での取り組みについて、学習や意見交換をしています。住民の方々から、学校や福祉施設などの関係者も交えて広く行っています。

ふれあいいきいきサロン活動「いたっみろかい」

高齢者の方々の生きがい・健康づくりを目的にレクリエーションや子どもとの交流などを行っています。健康チェックや福祉のお話などで、地域の福祉施設と協力しながら、各自治公民館単位ですすめています。

にこにこサービス（軽度生活援助事業）

簡単な家事（掃除・洗濯など）をお手伝いして、高齢者の自立と社会参加をすすめます。お手伝いする人（生活援助員）は随時募集していますので、ぜひご参加ください。

介護者のつどい

住宅で介護されている方々の心身のリフレッシュと、お互いに支えあう輪づくりをすすめています。介護に関する実技や話などで、地域の福祉施設と一体となってすすめています。

庄内地区の三大イベントって？

庄内ふるさとまつり

地域住民の芸術作品の展示や地域伝承の発表などを通じて、みんながふれあいながら「ふるさと庄内」を見つめ直す良い機会となっています。

庄内地区スポーツレクレーション大会

みんなでスポーツやレクリエーションでふれあうことによって、健康で明るく、住みよいまちづくりをすすめています。
歩こう会の種目が中心です。

庄内川一周 YOU 遊 駅伝大会

子どもからお年寄りまで、みんなで世代間交流しながら、あわせて健康づくり、交通事故防止、そして住民相互の親睦と連帯を高めています。
走り終えたあとは民生委員・児童委員の協力でぜんざいが振舞われ、みんなでおいしくいただきます。

学校の活動は？

庄内は教育を大切にするとともに、高齢者を大切にする誇り高い地域です。
3つの小学校と1つの中学校で、それぞれ特色ある活動をすすめています。

庄内小学校

「庄内小まつり」で高齢者を招待して昔の遊びを一緒にしたり、地域の福祉施設で伝統芸能を披露したりしています。

乙房小学校

都城養護学校と学年ごとに直接交流したり、ビデオレターで交流しています。
また、「乙房ふれあいまつり」で高齢者や保護者と交流しています。

菓子野小学校

福祉学習や福祉の町探検に取り組むとともに、敬老の日にお便りを出したり、「きらめき集会」で地域の高齢者を招待して交流を深めています。

庄内中学校

夏休みには全員の生徒が福祉施設でボランティア活動しています。
また、土曜日を利用して、地域での一人暮らし高齢者サロン活動に参加し、ふれあいをしています。

身近な地域では？

自治公民館

地域でのふれあいや環境、福祉活動など幅広く取り組んでいます。誰もが安心して暮らせる地域づくりには、自治公民館での活動はとても大切です。地元の活動にはすすんで参加しましょう。

民生委員児童委員、主任児童委員

常に住民の立場に立って、生活での困りごとの解決に向けてお手伝いしています。各自治公民館で1～2名が活動にあたっています。子どもから高齢者のことまで、何でも気軽に声をかけてください。住民のための一番身近な窓口です。

地域ボランティア

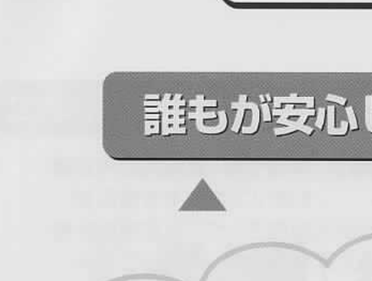
身近な地域内でのボランティア活動に取り組んでいます。福祉施設でのボランティア活動、自治公民館での高齢者ふれあいサロン活動、庄内ふるさとまつりでのバザー、あいさつ活動や環境など幅広く活動しています。
あなたもぜひ活動してみてください。

だから、地域福祉!!

誰もが安心して暮らせる庄内地区を目指して

地域住民が一緒になって
みんなで考え！みんなで支え合い！みんなで解決する！
地域の「しくみ」をつくりましょう

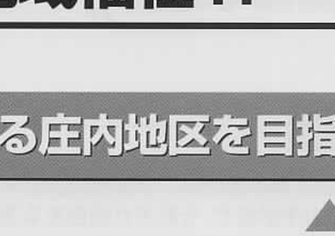
となり 近所で



ふれあいいきいきサロン活動

施設や 病院と

学校と 一緒に



学校の福祉施設訪問活動

所属 している 団体で

ボランティアによるバザー活動

企業と 一緒に

住居整備のボランティア活動

市の計画と地区の計画の関係

都城市地域福祉計画

ウエルネス都城の実現「みんなですすめる地域福祉」

○福祉サービス
・利用援助、質の向上等

○社会福祉を目的とする事業
・福祉人材の育成等

○住民参加・参画の促進
・ウエルネス事業との連携
・地区社協の充実等

都城市地域福祉活動計画

地区の計画は、市計画を実現するための行動計画です　アクション!

- 住民参加・行動計画
- 地域福祉活動計画
- 社協基盤強化計画

改訂（平成14年度～15年度）

地区計画（11地区）
地区「地域福祉活動計画」
庄内地区地域福祉活動計画
（平成15年5月）

地区の課題は

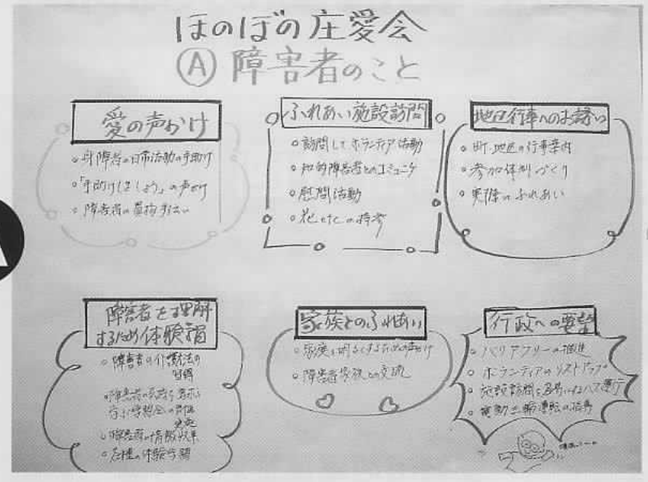
地区で解決できない課題や市全体の共通課題は、市計画の中で実現されます。

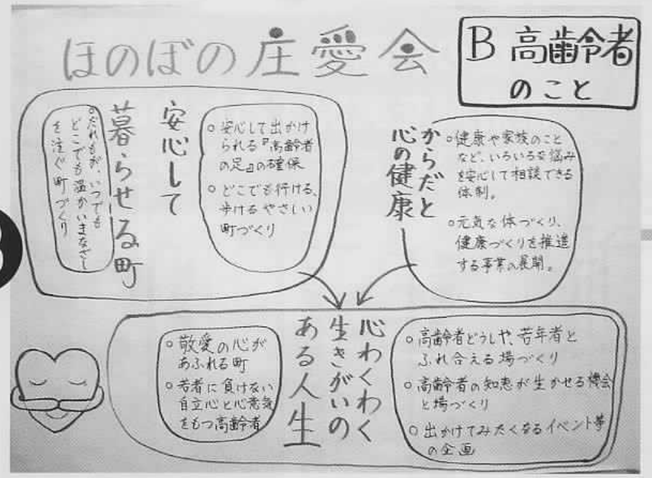
ご提言を！

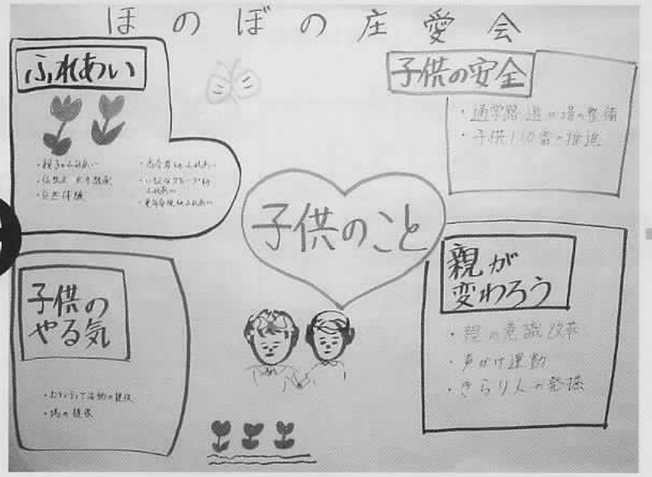
福祉のまちづくり条例

- 健康日本21計画
- 児童育成計画
- 障害者計画
- 高齢者計画

それでは、地域でまっさきに取り組まなければいけない事は？







A

B

C

取り組みの柱をまとめて

取り組みの三本柱です

庄内地区地域福祉計画

基本計画は15～16ページへ

1 健やかな心を育むまちづくり

活動計画は17～18ページへ

2 心のふれあうまちづくり

活動計画は19～20ページへ

3 心のプレゼントのまちづくり

活動計画は21～22ページへ

庄内地区 基本計画

人が元気（人づくり）

～健やかな心を育むまちづくり～

○自治公民館単位での学習会、座談会を通して、地域の実情を知り、住民みんなで参加し、地域活動やボランティア活動に気軽に取り組める、福祉の心を広げていきましょう。

○みんなで気軽に声かけ・あいさつができるよう心がけましょう。

○「庄愛福祉の日」を定めたり、お祝い事を地域で祝うなど、みんなの知恵と工夫が生かされるよう、人づくり・心づくりに取り組んでいきましょう。

（活動例）　福祉学習会、座談会、訪問座談会、ボランティア活動、「庄愛福祉の日」の設定

まちが元気（組織・体制・交流づくり）

～心のふれあうまちづくり～

○地域にあるまちづくりや福祉グループ・団体などの活動の把握に努め、みんなの意見を聞きながら、地域住民のみんながふれあえる行事を実現できるよう取り組みましょう。

○みんなで声かけ、あいさつをすることから心のつながりを深め、地域のふれあいの輪を広げていきましょう。

○地区福祉推進委員会が社会教育団体や学校・社会福祉施設等と協力することで横のつながりを強め、ボランティアや地域のリーダーを育てながら地域福祉を推進していきましょう。

（活動例）　各団体の行事の把握・調査、ボランティア活動の奨励、リーダー養成、広報誌の発行

自然が元気（環境づくり）

～心のプレゼントのまちづくり～

○バリアフリー(※)について詳しく学習して、高齢者や障害のある方などを理解したり、地域の危険な箇所を確認し交通安全に努めるなど、心と物の両面のバリアフリー化を地区ですすめましょう。

○地区のみんなが気軽にボランティアに参加できる雰囲気づくりをしましょう。

○親と子で福祉について学習し、福祉の心を子どもから地域に広げて、心のつながりが持てる地域の雰囲気づくりをしましょう。また、イベントを充実させ、まちづくりを工夫していくことで、あわせて地域を活発にしていきましょう。

○福祉の標語の募集や「心のプレゼント」運動を通して、地区全体を「心のプレゼント」のまちにしていきましょう。

（活動例）　バリアフリー学習、交通安全教室、交通安全マップ作成、ボランティア活動、福祉学習、福祉の標語募集、心のプレゼント運動

用語説明

※「バリアフリー」

障害のある人が社会の中で生活をしていく上で障壁（バリア）となるものをとりはらうという意味。もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁をとりはらう事をいう場合が多いが、より広く障害のある方の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。

その❶「健やかな心を育むまちづくり」

柱	項　　目	第1段階
地域の実情を知る	①福祉学習会や座談会に取り組みます	**実情を知る** ●10自治公民館で福祉座談会を開催する ◎人材の掘り起こし ◎庄内版きらり人 ◎ボランティア
	②子ども、障害者、高齢者の情報や現実を知る活動に取り組みます	**福祉について学ぶ** ●10自治公民館での福祉学習会を開催する
活動の開発	①環境美化など様々なボランティア活動に取り組みます	**いろいろな活動に参加する** ●庄内地区策定委員会の委員を中心にボランティア活動に取り組む ●庄内地区策定委員会を福祉協力員として登録する （※名刺も作っちゃおう！）
	②10自治公民館で現在取り組んでいる活動を活かし広げていきます	●地区の行事や自治公民館の行事、活動に住民で総参加する

第2段階	第3段階	もっと先の夢
住民参加の計画づくり 推進事項①　軽い気持ちでやれる事からすすめる庄内 推進事項②　地区住民全ての知恵と工夫が生かされる魅力ある庄内 推進事項③　声かけ、あいさつが行き交う庄内 推進事項④　お祝い事を地域で祝う庄内	**みんなで取り組む** 「庄愛福祉の日」の設定 祝い旗を立てる 福祉部の設置 福祉人材バンクの設置 「福祉たて看板」の設置 困りごと相談所の設置 友愛訪問活動 各自治公民館の開放	**各自治公民館ごとの地域福祉活動計画の策定**
人材育成 → **財源確保** → **拠点の確保** → **関係機関との連携** → ●住民総参加で企画する		

その2「心のふれあうまちづくり」

柱	項　　目	第1段階
実態把握・調査	○各団体が行っている行事の把握 ○各団体が行っている行事を見直します(各団体へ声かけ) ○地域福祉計画の中で上がっている意見、提言を項目としてチェックし見直していきます ○障害者等から話を聞くことにより、ニーズを把握します ○次年度以降への行事の取り組み内容の確認やチェック作業への参考とします	実態把握 地域組織の在り方を考え直してみる（情報交換の場）
地域全体でのふれあい	○PTA行事の中に高齢者とのふれあいのみでなく、障害者とのふれあいが図れる体制をつくります ○各団体の情報交換や情報提供(組織間の交流) ○学校での取り組みとして、ジュニアリーダーの活動を生徒たちの活動の参考にします ○行事に呼ぶ対象を年度別にかえて、将来的に地域全体にひろがり、障害者の方等が参加できるように、地域の輪を広げていきます	行事に関心がないことが問題であるため、そのような方々との意見交換の場を設ける
意識啓発・情報伝達	○地域ごとの広報を用いて、行事やふれあいの場などの案内を図ります ○将来的に地区全体の広報(情報伝達)があればよい ○啓発は、広報誌などを用いて、計画を実行する組織として、地区福祉推進委員会、社教連の団体が協力して行います	地域にあるまちづくりや福祉活動を行うグループが、どの様な活動を行っているか実態を把握する （地域福祉マップの作成）
人材育成	○マンパワー(ボランティア)の養成、教育システム ○障害者が地区の行事に参加できるようにマンパワー(ボランティア)の養成及びハード面の整備を図ります(トイレや駐車場)	
拠点整備	○地域の交流の拠点の整備、地区公民館の改修等（コミュニティセンターとしての機能整備） ○児童から高齢者、障害者も含めた地域住民が気軽に集える場所(拠点)の整備	

第2段階	第3段階	もっと先の夢
➡ 働きかけを強化	➡ 連携の強化	地域ノーマライゼーション(※)の確立ができる
➡ みんなで声かけやあいさつをする	➡ 横のつながりを強化していく取り組みを行う	
情報の発信源として自治公民館を活用する（広報誌等を通じて）	地区福祉推進委員と社教連との連携を図り強化していく	
地域の団体が、地域福祉の視点を持って、行事や活動の計画に取り組む	地域のリーダー養成 （地域のことを充実させるためには人材を地域のなかから発掘し育成を行う）	
行事への参加について働きかけを行う		

地域交流を図るための拠点整備
（コミュニティセンターとしての公民館機能整備）

※ノーマライゼーション

障害を持つ人も持たない人も、すべての人々が地域社会で平等に(ノーマルに)生活できることを意味します。もともとは1952年頃のデンマークで、障害を持つ子どもたちを地域に帰したいという親の会の運動から始まり、日本も含めた世界中で、その理念の実現がすすめられています。

その③「心のプレゼントのまちづくり」

柱	項　　目	第1段階
心・物理のバリアフリー	○バリアフリーの考え方を徹底的に学習し理解します ○施設等の行事や交流会など、その時参加するだけで終わるのではなく、後につながる機会となるような参加の仕方を工夫します ○車椅子に乗る、アイマスクで歩く等の体験を通して、理解します ○電動三輪車などについて、乗る人、乗らない人どちらともルール等の理解をはかります ○交通安全教室を開きます ○市から販売・レンタル業者へ通告してもらい、利用開始時の指導の徹底をはかります ○利用者の様子を見に行きます	現状を知る・体験する・ **バリアフリー探検隊**を発足 通学路など、道路の安全を確認
組織ぐるみのあいさつ運動	○自治公民館、学校、家庭等関係者みんなで集まり、展開方法を計画企画します ○心のつながりをつくります ○親の意識改革を進めます ○地域の雰囲気づくり	自分のできること、やれることを確認
「心のプレゼント」運動	心のプレゼントをたくさんしましょう ◎明るいあいさつ ◎「ありがとう」 ◎人が喜ぶこと	家庭教育学級など、様々な機会で**福祉学習**を行い、親（大人）がまず意識改革 3大イベントの充実 庄内らしいまちづくりの工夫（商店街のイルミネーション等） **福祉の標語**を募集 既存の運動の確認「**心のプレゼント**」運動

第2段階	第3段階	もっと先の夢
できることからすすめる	実践する・地域全体へ広げる	
障害者、子ども、高齢者の立場にたって、地域の危険場所の確認 →	できるところから改善	**手づくりの標識をみんなで作ろう!**
継続して通学路など、道路の安全を確認 →	**道路に名前**をつけよう! **交通安全マップ**を作成し、地域に配布	
地域人材バンクに登録 →	気軽に参加できるボランティアの雰囲気づくり →	**ボランティアを自発的に行いましょう!**
家庭内で子どもと一緒に勉強会 →	子ども会活動など、地域に広げていく →	**地域の活性化**
3大イベントの充実		
庄内らしいまちづくりの工夫（商店街のイルミネーション等） →		
標語を**家庭**で考えよう! 親が徹底してすすめ、子どもに伝える →	**看板、チラシ**等をつくり、みんなに広める →	**「心のプレゼント」のまち**

庄内地区地域福祉計画策定委員会